

研究課題名	外科系集中治療室入室患者における Intensive Care Unit Mobility Scale と術後転帰に関する調査
研究期間	2025 年 9 月 11 日 ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2020 年 7 月～2026 年 3 月の間に当院 SICU に入室された患者のうち、早期離床・リハビリテーション加算が算定された全ての患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：集中治療室に入室される患者さんに対する早期からのリハビリテーション介入の有用性が数多く報告されています。特に、早期から座ったり歩行したりできる患者さんは自宅に退院できる割合が高く、当院の外科系集中治療室においても手術の翌日から座る・立つ・歩くなどのリハビリテーションを実施しています。ですが、リハビリテーションの進捗状況と自宅退院の割合に関するこれまでの報告は一般的な集中治療室での報告であり、外科系集中治療室に入室される患者さんでの報告はありません。本研究は外科系集中治療室での早期からのリハビリテーションの意義や有用性を明らかにするため、リハビリテーションの進捗状況と自宅退院などの転帰との関連を調査することを目的としました。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、手術後のリハビリテーションの進捗状況と自宅退院率などとの関係を調査します。
研究に用いる試料・情報の種類	使用する情報は以下の通りです。 年齢、性別、身長、体重、BMI、診断名、基礎疾患、術前 Barthel Index、手術情報（術式、手術時間、麻酔時間、術中水分出納、出血量）、SICU 入室中の情報（SICU 入室直後の血液検査（白血球数、ヘモグロビン、クレアチニン、e-GFR、NT-pro BNP）、PODO 術後帰室すぐの SOFA score、POD1 の SOFA score（平均値 or 最大値 or 早朝）、SICU 在室日数、SICU での人工呼吸管理の有無、SICU での人工呼吸管理時間（SICU 入室～抜管までの時間）、SICU でせん妄の発生がなかった日数、人工呼吸離脱～SICU 退室までの期間中の吸入気酸素濃度（FiO2）の最高値、一酸化窒素（NO）使用日数、循環作動薬（薬品名：イノバン、ドブタミン、ノルアドレナリン、ピトレシン、アドレナリン）を使用しない日数、SICU 入室時刻を 0 時間とした 6 時間経過ごとの水分出納、早期離床・リハビリテーション中のバイタルサイン（収縮期/拡張期/平均血圧、心拍数、呼吸数、経皮的酸素飽和濃度）、SICU 入室期間中の IMS、SICU 入室日数、退室後情報（退院時 Barthel Index、術前 Barthel index と退院時 Barthel index から算出した入院関連機能低下、転帰（死亡、自宅退院、転院、施設入所）

利用または提供を開始する予定日	2025 年 9 月 11 日（本学における実施許可日）
個人情報の保護	試料・情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 理学療法士 平井智也
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 担当者：平井 智也（理学療法士） 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5566